

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内> (γ)

(1/7)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
太田川沖合1km付近(T-S1)	カナガシラ(筋肉)	2022/1/18	< 3.7E+00	< 3.5E+00	ND
太田川沖合1km付近(T-S1)	クロソイ(筋肉)	2022/1/18	< 4.1E+00	< 4.1E+00	ND
小高区沖合3 km付近(T-S2)	アカエイ(筋肉)	2022/1/18	< 3.8E+00	< 3.9E+00	ND
小高区沖合3 km付近(T-S2)	イシガレイ(筋肉)	2022/1/18	< 3.9E+00	< 3.7E+00	ND
小高区沖合3 km付近(T-S2)	カナガシラ(筋肉)	2022/1/18	< 4.1E+00	< 3.5E+00	ND
小高区沖合3 km付近(T-S2)	クロソイ(筋肉)	2022/1/18	< 3.4E+00	< 3.3E+00	ND
小高区沖合3 km付近(T-S2)	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/1/18	< 3.7E+00	< 2.7E+00	ND
小高区沖合3 km付近(T-S2)	ホシザメ(筋肉)	2022/1/18	< 3.8E+00	< 3.8E+00	ND
小高区沖合3 km付近(T-S2)	マコガレイ(筋肉)	2022/1/18	< 3.1E+00	< 3.9E+00	ND
小高区沖合3 km付近(T-S2)	ムシガレイ(筋肉)	2022/1/18	< 3.4E+00	3.8E+00	3.8E+00

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号(<:小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
- ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
- ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
- ・ $\text{〇.〇E}\pm\text{〇}$ とは、 $\text{〇.〇}\times 10^{\pm\text{〇}}$ であることを意味する。
 (例) $3.1\text{E}+01$ は 3.1×10^1 で31, $3.1\text{E}+00$ は 3.1×10^0 で3.1, $3.1\text{E}-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内> (γ)

(2/7)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
請戸川沖合3km付近(T-S3)	イシガレイ(筋肉)	2022/1/27	< 3.9E+00	< 4.0E+00	ND
請戸川沖合3km付近(T-S3)	カナガシラ(筋肉)	2022/1/27	< 3.1E+00	< 4.3E+00	ND
請戸川沖合3km付近(T-S3)	クロソイ(筋肉)	2022/1/27	< 3.3E+00	< 4.0E+00	ND
請戸川沖合3km付近(T-S3)	ケムシカジカ(筋肉)	2022/1/27	< 3.6E+00	< 3.4E+00	ND
請戸川沖合3km付近(T-S3)	コモンカスベ(筋肉)	2022/1/27	< 4.0E+00	< 4.0E+00	ND
請戸川沖合3km付近(T-S3)	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/1/27	< 3.2E+00	< 3.3E+00	ND
請戸川沖合3km付近(T-S3)	マコガレイ(筋肉)	2022/1/27	< 3.7E+00	< 2.9E+00	ND
請戸川沖合3km付近(T-S3)	ムシガレイ(筋肉)	2022/1/27	< 3.5E+00	< 4.0E+00	ND
1F敷地沖合3km付近(T-S4)	キアンコウ(全体)	2022/1/27	< 4.0E+00	< 4.1E+00	ND
1F敷地沖合3km付近(T-S4)	クロソイ(筋肉)	2022/1/27	< 3.6E+00	< 3.6E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号(<:小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
- ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
- ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
- ・ $\text{〇.〇E}\pm\text{〇}$ とは、 $\text{〇.〇}\times 10^{\pm\text{〇}}$ であることを意味する。
(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31, 3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1, 3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内> (γ)

(3/7)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
1 F 敷地沖合 3 k m 付近(T-S4)	ケムシカジカ(筋肉)	2022/1/27	< 4.0E+00	< 4.2E+00	ND
1 F 敷地沖合 3 k m 付近(T-S4)	コモンカスベ(筋肉)	2022/1/27	< 3.9E+00	< 2.9E+00	ND
1 F 敷地沖合 3 k m 付近(T-S4)	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/1/27	< 4.1E+00	< 3.2E+00	ND
1 F 敷地沖合 3 k m 付近(T-S4)	ヒラメ(筋肉)No.2	2022/1/27	< 3.8E+00	< 3.5E+00	ND
1 F 敷地沖合 3 k m 付近(T-S4)	マコガレイ(筋肉)	2022/1/27	< 3.6E+00	< 4.1E+00	ND
1 F 敷地沖合 3 k m 付近(T-S4)	ムシガレイ(筋肉)	2022/1/27	< 3.5E+00	< 4.0E+00	ND
木戸川沖合 2 k m 付近(T-S5)	イシガレイ(筋肉)	2022/1/28	< 2.8E+00	< 4.1E+00	ND
木戸川沖合 2 k m 付近(T-S5)	キアンコウ(全体)	2022/1/28	< 4.0E+00	< 3.3E+00	ND
木戸川沖合 2 k m 付近(T-S5)	コモンカスベ(筋肉)	2022/1/28	< 3.8E+00	< 3.7E+00	ND
木戸川沖合 2 k m 付近(T-S5)	ババガレイ(筋肉)	2022/1/28	< 3.3E+00	< 3.6E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号(<:小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
- ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
- ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
- ・ $\text{〇.〇E}\pm\text{〇}$ とは、 $\text{〇.〇}\times 10^{\pm\text{〇}}$ であることを意味する。
(例) $3.1\text{E}+01$ は 3.1×10^1 で31, $3.1\text{E}+00$ は 3.1×10^0 で3.1, $3.1\text{E}-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内> (γ)

(4/7)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
木戸川沖合2 km付近(T-S5)	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/1/28	< 2.9E+00	< 3.7E+00	ND
木戸川沖合2 km付近(T-S5)	ホウボウ(筋肉)	2022/1/28	< 4.1E+00	< 2.9E+00	ND
木戸川沖合2 km付近(T-S5)	マコガレイ(筋肉)	2022/1/28	< 3.7E+00	< 3.8E+00	ND
木戸川沖合2 km付近(T-S5)	ムシガレイ(筋肉)	2022/1/28	< 3.4E+00	< 3.5E+00	ND
2F敷地沖合2 km付近(T-S7)	クロダイ(筋肉)	2022/1/28	< 3.9E+00	< 3.7E+00	ND
2F敷地沖合2 km付近(T-S7)	コモンカスベ(筋肉)	2022/1/28	< 4.1E+00	< 3.5E+00	ND
2F敷地沖合2 km付近(T-S7)	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/1/28	< 4.0E+00	< 3.8E+00	ND
2F敷地沖合2 km付近(T-S7)	マコガレイ(筋肉)	2022/1/28	< 3.0E+00	< 3.1E+00	ND
2F敷地沖合2 km付近(T-S7)	マダイ(筋肉)	2022/1/28	< 3.6E+00	< 3.2E+00	ND
2F敷地沖合2 km付近(T-S7)	ムシガレイ(筋肉)	2022/1/28	< 4.1E+00	< 4.5E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号(<:小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
- ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
- ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
- ・ $\text{〇.〇E}\pm\text{〇}$ とは、 $\text{〇.〇}\times 10^{\pm\text{〇}}$ であることを意味する。
(例) $3.1\text{E}+01$ は 3.1×10^1 で31, $3.1\text{E}+00$ は 3.1×10^0 で3.1, $3.1\text{E}-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内> (γ)

(5/7)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
熊川沖合 4 k m付近(T-S8)	コモンカスベ(筋肉)	2022/1/27	< 4.2E+00	< 4.3E+00	ND
熊川沖合 4 k m付近(T-S8)	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/1/27	< 3.6E+00	< 3.6E+00	ND
熊川沖合 4 k m付近(T-S8)	ホウボウ(筋肉)	2022/1/27	< 3.5E+00	< 3.9E+00	ND
熊川沖合 4 k m付近(T-S8)	マコガレイ(筋肉)	2022/1/27	< 3.2E+00	< 3.6E+00	ND
熊川沖合 4 k m付近(T-S8)	ムシガレイ(筋肉)	2022/1/27	< 2.8E+00	< 3.3E+00	ND
小高区沖合 1 5 k m付近(T-B1)	カナガシラ(筋肉)	2022/1/25	< 3.9E+00	< 4.3E+00	ND
小高区沖合 1 5 k m付近(T-B1)	コモンカスベ(筋肉)	2022/1/25	< 3.2E+00	< 3.9E+00	ND
小高区沖合 1 5 k m付近(T-B1)	スズキ(筋肉)	2022/1/25	< 3.3E+00	< 3.1E+00	ND
小高区沖合 1 5 k m付近(T-B1)	ババガレイ(筋肉)	2022/1/25	< 3.5E+00	< 3.8E+00	ND
小高区沖合 1 5 k m付近(T-B1)	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/1/25	< 3.6E+00	< 3.9E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号(<:小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
- ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
- ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
- ・ $0.0E \pm 0$ とは、 $0.0 \times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。
(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31, $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1, $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内> (γ)

(6/7)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
小高区沖合1.5km付近(T-B1)	ホウボウ(筋肉)	2022/1/25	< 3.8E+00	< 4.1E+00	ND
小高区沖合1.5km付近(T-B1)	マサバ(筋肉)	2022/1/25	< 2.7E+00	< 2.9E+00	ND
小高区沖合1.5km付近(T-B1)	ムシガレイ(筋肉)	2022/1/25	< 4.0E+00	< 4.1E+00	ND
小高区沖合1.5km付近(T-B1)	メイタガレイ(筋肉)	2022/1/25	< 3.5E+00	< 3.6E+00	ND
請戸川沖合1.8km付近(T-B2)	イシガレイ(筋肉)	2022/1/25	< 3.0E+00	< 3.5E+00	ND
請戸川沖合1.8km付近(T-B2)	キアンコウ(全体)	2022/1/25	< 3.2E+00	< 3.1E+00	ND
請戸川沖合1.8km付近(T-B2)	コモンカスベ(筋肉)	2022/1/25	< 2.9E+00	< 2.9E+00	ND
請戸川沖合1.8km付近(T-B2)	ババガレイ(筋肉)	2022/1/25	< 3.3E+00	< 3.5E+00	ND
請戸川沖合1.8km付近(T-B2)	ムシガレイ(筋肉)	2022/1/25	< 3.4E+00	< 3.9E+00	ND
請戸川沖合1.8km付近(T-B2)	メイタガレイ(筋肉)	2022/1/25	< 4.3E+00	< 3.2E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号(<:小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
- ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
- ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
- ・ $\text{〇.〇E}\pm\text{〇}$ とは、 $\text{〇.〇}\times 10^{\pm\text{〇}}$ であることを意味する。
(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31, 3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1, 3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(7/7)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
請戸川沖合18km付近(T-B2)	ヤナギムシガレイ(筋肉)	2022/1/25	< 3.3E+00	< 4.4E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
 - ・不等号(<:小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
 - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
 - ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
 - ・ $\text{〇.〇E}\pm\text{〇}$ とは、 $\text{〇.〇}\times 10^{\pm\text{〇}}$ であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31, 3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1, 3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。